

カナダハウスの日常写真

たまにあるよく分からない夜会



岡田杯（寮対抗サッカー大会）↓



ソーシャルでの集まり↓



ICU 祭でのタコス BROs 出店 (2024)↓



キッチン



浴室



ソーシャルルーム



来たれ、自由・冒険・情熱の空間

「カナダハウス」へ！

新入生の皆さん、ご入学本当におめでとうございます！

既にご想像の通り、新鮮で刺激に満ちた数々の出来事が、これから皆さんを待ち構えていますよ。僕は皆さんのことが心底うらやましい！だって、記憶を消して、その場にもう一度居合わせたいと思えるような、ワクワクしたかけがえのない思い出を、皆さんはゼロからたくさん作っていけるんですから！

…だけれど、この文章を読んでいる人の中には、「しばらくして新生活に慣れてしまったら、結局味のしないガムみたいな日常が戻って来るだけでしょ」なんてふうに現時点で考えてしまっている、ちょっと飽きっぽい人もいるかもしれませんね。

でも、そんなあなたでも絶対に退屈しない、いや退屈させてくれない環境があります！それが、カナダハウスです！

ほっておくと必ず何かしらの「イベント」が起き、そこに巻き込まれていく、ICU 随一の空間…それが、ここカナダハウス！！

【カナダハウスの雰囲気・イベントなどについて】

カナダハウスとはどんな場所なのか、興味が湧いてきましたか？それでは、より具体的なイメージが掴めるよう、カナダハウスについてご説明いたします。

そもそもカナダハウスって、なんだか今風な感じのしない名前ですよね。それもそのはず、カナダハウスが建てられたのは 1962 年、キューバ危機が起きた年のことです。ICU の中でも比較的古くから存在する寮ということで、第三女子寮、第四女子寮、グローバルハウスと合わせ、カナダハウスは旧寮と呼ばれています。寮を管轄する大学の部署（ハウジングオフィス）の方に聞いたところでは、カナダの教会関係者による呼びかけと多くの寄付によって建てられたことから、「カナダハウス」という名前がついたのだそうです。

<雰囲気>

そんなカナダハウスの大きな特徴のひとつは、いろんな背景を持つ人が集まり、みなの個性が尊重される場所であることです。

まず、日本国外にルーツを持つとか、帰国子女であったり、留学経験を持つ人が、約 30 人いる寮生の半数以上を占めています。当然、出身地はみなバラバラです。それだけでなく、例えば高校や他大を中心

退してから ICU に入り直した人がいたりもします。プライバシーの問題もあるので細かいことはここでは書けませんが、その他にも様々な背景の違いがありますし、それぞれの個性も非常に豊かです。単に海外経験があるといった側面に留まらない多様性が、カナダハウスにはあります。

そうした背景もあってか、学年にかかわらず、お互いにタメ語や呼び捨てでやり取りし、先輩後輩というよりも仲の良い友達として関係を作ることができる雰囲気があります。もちろん、寮運営の場面、例えばイベントの開催や掃除の実施について、上級生が下級生にアドバイスすることは当然ありますが、その場合でも下級生の考え方や意志は対等な人間としてきちんと尊重されます。決して、上意下達と形容されるような場所ではありません。

もう一つの大きな特徴は、新しいことにみんなで挑戦することを楽しむ雰囲気があることです。例えば、カナダハウスでは 2023 年の ICU 祭（10 月に行われる学園祭）から、うどんやタコスの屋台の出店を毎年行っています。これは使う材料の選定やレシピの作成、値段設定や販売戦略に至るまで、責任者が中心に一から行い、材料の仕込みから調理、売り込みまで寮生が一丸となって取り組む、ひとつのお祭りでもあります！

この文章は 2026 年 1 月に書かれたものなので、この取り組みはカナダハウスの歴史の中ではつい最近始まったものということになります。屋台の出店には材料費等の資金が必要ですが、これは寮全体の財産から予算を捻出して（！）行っています。

このように、未知のことや今までにやったことのないことでも、あえてリスクを取り、皆で一緒になって全力で取り組む「冒険の精神」がカナダハウスにはあります。これは他の寮にはあまりない、ユニークな特徴です。

…と、ここまで読むと、なんだか外向的な人しかいない寮なんじゃないかという気がしてくるかもしれません、そんなことは全くありません。もちろん外向的な人も多いですが、内向的で考え事にふけっているような人や、一人の時間を大切にしている人も多い場所です。夜中に少人数で集まって、少し深いテーマや哲学的な話をしたり、時には悩みを共有する、といったこともあります。（実はこれを書いている僕自身、こうした話を好む人間です）

カナダハウスは、そんなふうにじっくり話したい人も、にぎやかに過ごしたい人も、同じ屋根の下で自然に深い関わりを持つことができる空間でもあります。

<イベント>

カナダハウスは、ICU の寮の中でもイベントが盛んに行われる寮です！そのことはカナダハウスのアイデンティティの一部でもあります。

他寮との交流も非常に盛んで、例えば新入生が入学する 4 月と 9 月には「花見」「月見」と呼ばれる交流イベントが旧寮全体で行われますし、その後も交流会が不定期に開催されます。イニシエーションと呼ばれる、新入生がダンスなどのパフォーマンスを通して自己表現を行う機会や、岡田杯と呼ばれるサッカー大会も行われています。

こうした、授業やサークル以外で友人を作るための機会がカナダハウスにはたくさん用意されています。また、1年生の終わりからは、そうしたイベントを新しく自分たちで企画し、実行することもできます！このように、誰もが自分の才能と個性を発揮し、輝くことができるのも、カナダハウスの大きな魅力です。

【カナダハウスの一員として求められること】

ところで、写真を見れば分かることおりですが、カナダハウスは男子寮です。そういうわけで、男性であることはカナダハウスに入寮する必須条件ですが、それ以外に特別な条件はありません。
しかしながら…こんな人が新入生に来てほしい！といった寮生の期待のようなものは、ある程度存在します。そういうわけで、これからカナダハウスに入りたいと思っている人に、最低限抑えておいてほしい点をひとつだけ書いておきたいと思います。

<責任>

ここまできちんと目を通してくれた人は、寮内の自由な雰囲気、進んで物事に取り組む姿勢を読み取ったうえで、カナダハウスに興味を抱いてくれているのではないかと思います。

これらが両立し得るのは、カナダハウスの寮生が自由に伴う**責任**をきちんと理解しているからです。

ここで少し、今までの学生生活を振り返ってみてください。中学や高校は、大学に比べれば制限の多い空間です。当然、これを読んでいる皆さんの中には、やりたいことを思うようにできず、不満を抱いた経験のある人もいることでしょう。

しかし…自由がないということは、他の誰かが今日やることを代わりに考えて、決めて「くれる」ということもあります。そんなとき、あなたは自分のやったことに**100%の責任**を負う必要がありません。

つまり、自由になるというのは、誰かが負っていた責任を自分で負うことでもあります。うまく行くか分からなくて不安でも、自分で考えてやってみる。うまく行かなくても、決して人のせいにしないで、自分で後始末をする。なんなら、他の誰かの後始末をしなければならないこともあるでしょう。しかし、それが責任を取ることです。

その覚悟がない限りは、たとえ自由に行動できる環境に身を置いても、その人は自由になれません。ただ自堕落に、他者からのおこぼれを待つことしかできません。

鳥のヒナについて考えてみてください。彼らは、見よう見まねで飛んでみると親鳥に強いられます。確かに彼らは、一度空を飛べるようになってしまえば、巣に縛られる生活から解放されます。

しかし、最初から飛ぶことが全く怖くない、ということがあるはずはないし、しかも、一度巣立ってしまえば、餌は自分の力で見つけなければなりません。

カナダハウスで求められるのは、まさにそうした姿勢です。自由になることには必ず代償が伴います。ただ楽しいだけの毎日が続く、天国のような場所だというわけではありません。それでも自由を掴みたいですか？もしそうならば、絶対にカナダハウスに来てください。これから約4年間で、あなたは見違えるように大きくなれるはずです。共に生活し、成長しましょう！かけがえのない思い出を、一緒に作りましょう！

カナダハウス副寮長 水内悠貴（2026）